

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花 しのろ館 令和5年3月8日 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が必ず目にする事ができる場所に理念を掲示している。職員会議や、ケアプラン作成時等、理念を念頭にしたケアを心がけている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は、入居者様とともに町内会の行事へ参加し、交流を図っていたが、現在は、地域の方との交流は少なくなったが、地域向けの広報紙で、ホームの事を伝達する等、可能な限り地域交流が途絶えないようにしている。	・管理者が窓口となり、他事業所の状況や地域連携について話し合う機会がある。例えば、コロナ対策における面会再開状況など、非常に参考になっている。他事業所の管理者が他市町村ということもあり、市町村特有の取り組みや、活動状況も参考になっている。 ・コロナ禍の状況に応じた対応、地域との交流が途絶えないよう努められていると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や地域住民、地域包括支援センターには書面で意見を頂き、それを基に、運営推進会議の場で、入居者様と職員間で意見交換をし、その結果をサービスに活かしている。また会議ではリモートも使用し、地域包括支援センターからは地域情報や運営アドバイスを頂いている。	・運営推進会議の開催をきっかけに、他事業所と連絡を取り合う機会となっており、知り得た情報は、相互に建設的な話し合いの場となっている。電話やメール等、リモートも活用出来ている。 ・コロナ禍でもリモートを活用し、運営推進会議を開催出来ている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度、入居状況を市へ報告している。また、地域包括支援センターから運営に関する意見を伺い、空室状況の情報交換を行っている。	・事前事後のコロナ対策も含め、市町村や、保健所との連携が必然的に多い状況となっている。 ・広報誌の発行や、地域包括支援センターとの連携等、定期的を実施されており、協力関係が築けている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて、3ヶ月に一度、身体拘束適正化委員会を開催。管理者が、その内容を全職員へ伝達し、共有を図っている。また年2回以上の身体		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に取り組みを行い、身体拘束をしないケアを実践されている。

				拘束の研修を実施し研鑽に努めている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者を含めた菜の花全館の管理者会議にて、身体拘束等適正化委員会と共に、3ヶ月に一度、虐待防止委員会を開催している。またユニット会議にて、虐待に関する定義や虐待防止の為の方策について、No5項目と合わせ年2回以上の研修を行い、防止を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・定期的に取り組みを行い、虐待をしないケアを実践されている。また、不適切なケアの予防等、虐待の芽を摘む事に注力している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年間のスケジュールにて、権利擁護、成年後見人制度を、研修として学ぶ機会を設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は、法人における営業担当者が書類をもとに、口頭にて契約内容や解約手順を説明している。また管理者も同席し、疑問や不安等があれば、都度対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	相談窓口の設置、運営推進会議等、苦情や意見、要望を、口答や書面にて、いつでも表せる様にしており、その内容を運営に活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議をはじめ、意見を表せる機会、方法が複数準備されている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は、定期的な個人面談を実施し、職員からの意見や提案を、日常的に聞ける様にしている。それらを毎月の法人内管理者会議にて、代表者へ伝えている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人として、各自が向上心を持ち就業出来るようキャリアパス制度の導入を急いでいる。また勤怠管理システムの導入、業務のICT化を進める等の環境整備を行っている。事業所		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	難しい面もあると思うが、今後も職員が続けられることができる環境を整える必要がある。

				においては、風通しの良い働きやすい職場となるよう環境を整えている。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人では、個々の実績や力量に応じた会社負担にて、資格取得や外部研修受講を勧めている。事業所では、働きながら受講できる取り組みを行っている。その他、毎月のカンファレンスにて内部研修を実施している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・育つことができる環境が整っている為、しのろ館は長く働いている職員が多い。今後も継続してほしい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同区の管理者連絡会議にて、情報交換をしていたが、コロナ禍の為、現在は集まる事が出来ていない。法人全体の管理者会議は、リモート会議にて行い、情報交換を行っている。令和4年9月より感染予防を行った上で集合の会議も再開したが、感染状況により、リモートと併用している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活において、入居者様と一緒に過ごすことを大事にしている。レクや行事以外でも、一緒に作業をし、談話をし、共に過ごす関係性を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、現在は直接会う事を控えているが、ZOOM、窓越しでの面会、手紙、電話、新聞の発行等、関係が途切れない様、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況は非常に流動的であり、感染者数の状況を踏まえて実施していると考えられる。 ・入居者様の事を考えて取り組まれており、充分に対応していると思う。 		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	直接意向が聴けない事が多い為、これまでの生活歴や、暮らしの情報シートを参考にし、現状と照らし合わせつ			

				つ関わりを持つ事で、意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態変化や、ケアの関わり等、気づきシートに記入し共有、ご家族の意向と合わせカンファレンスの場で話し合いを行い、現場で即した介護計画を作成している。	・職員の技量によって意見の偏りや、アセスメントの視点も大きく変わると思う。 ・スーパーバイザーであるリーダーや管理者は、法令や介護保険の基本理念など踏まえ取り組んでいる ・ご本人、ご家族を中心にプランを作成されていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・意向の確認をはじめ、各入居者様の状態変化を、在宅確認票にて共有できるようにされている。その上で、プラン作成がなされている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録には日々行っている事、ケアプランのサービスの他に、その時の様子を記載し、介護計画や職員間の情報共有に活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・十分に出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、面会や外出は制限を行っているが、その中で入居様が楽しめる事を既存のサービスに捉われず立案、実施している。	・コロナ禍における活動制限は、非常に強いものとなった。そういった中で地域や市町村が求めるニーズに、今後もコロナ感染状況を踏まえ対応できる柔軟さが求められる ・よく対応している。ぜひ継続してほしい		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、地域資源の活用はほとんど出来ずにいるが、病院受診の際には介護タクシーを利用するなどしている。	・町内会や、札幌市のボランティア団体、馴染みの活動などが、コロナ禍において著しく制限されている。地域資源に頼らない視点の取り組みも求められていると考える ・地域住民からの参考意見などがあれば良いと思う		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他科受診においては、ご家族対応、または、同行のもと受診している。往診医に関しては、ご本人が訴えられない事が多いため、日々の様子や変化を主治医に伝え、適切な医療を受けられるように支援している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	今年度において入退院における協働はないが、コロナ禍において病院へ出向き、情報収集が出来ないケースもある為、情報の共有が出来るよう関係作りを考えていく必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	・該当なく評価不可。今後、治療が必要なケース等を踏まえ、関係構築に努めて欲しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人とご家族に意思確認を定期的に行っている。また、重度化した場合は、主治医とご家族も交えて、話し合う機会をもっている。また、ご本人にも、日常生活の中で、最後の迎え方などの意思確認を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	・意向の確認は実施されているが、今後、より密に、医師、ご本人、家族様、ホームなどで情報共有ができる場を作り、支援ができるように取り組んでもらいたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応についての研修を実施し、フローチャートは、各職員が良く目にする所に掲示している。また実際の緊急時には、役割分担を定めて、初動から対応出来るようにしている。介護職員は、救急救命講習を受講済みである。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練(昼夜別想定)の火災、地震、水害)を実施している。また、実際に発生した際には、町内会の方にも、避難の協力を得られることになっており、避難場所等も決まっている。先の災害を教訓に、災害備蓄の見直しを図り、照明等を追加し準備している。	・菜の花は施設設備・対策に充実している様子がある。今後も忙しい中ではあるものの、職員の異動や入社などのタイミングで、災害対策を教育できる体制を構築してほしい。 ・色々な事を想定して備えてもらいたい ・今後も変わらずに、災害対策に取り組んで頂けたらと思う。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設設備・対策が十分になされているが、災害に「絶対に大丈夫」はないので今後も取り組みを続けて欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人に合った声掛けを行っている。虐待や不適切なケアが発生しない様、定期的に研修を行っている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一人一人の状態に合わせて、個別のケアがなされている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間や入床、起床等、可能な限り、その方のペースで暮らす事が出来る様支援している			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に準備や片付けを行う事は、入居者様の生活動作上において難しいものの、行事の際には季節感のある食事や、リクエストに応える等、食事を楽しむ事が出来る様支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・菜の花通信を見て、入居者様が楽しむ事ができるように配慮されている事が伝わる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミキサー食などの食事形態や、粥なども、医師や看護師と相談し、適した形状で提供している。また6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを行い状態の確認を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、声掛けや誘導、介助を行っている。拒否がある際などは、時間を変更し対応を行ったり、口腔ガーゼを使用したりと工夫している。また、6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを行い状態の確認をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・訪問歯科と連携しながら、一人一人の状態に合わせた治療や、ケアがされている。また、ご家族も含めて相談、連絡がなされている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンをふまえて声掛けをし、排泄の失敗が減る様に対応している。また、水分摂取や運動を取り入れるなど、薬に頼らない便秘の予防も行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・画一化せず一、一人一人に合わせて対応している。清潔の保持、誘導の支援がされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	浴槽に入る方、シャワー浴のみ希望など、個々の希望に合わせて対応し、タイミングも、ご本人の希望に合わせて対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は何処で過ごしたいか等、ご本人に確認し、リビングや居室など意向に沿った場所で、休んで頂ける様にしている。また、就寝時間は自由で、寝具も季節や体調に合わせ、安眠出来るように配慮している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方薬の情報はいつでも職員が確認できるように保管されている。症状の変化について状態を記録し、医師へ情報提供、治療に活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご家族を含めて相談がなされている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思をはっきりと表出する事が難しい為、生活歴より模索し、楽しみ事や気分転換がその人らしく行えるよう支援している。	・入居者様の、心身状況に個人差が大きい場合が多く、集団での活動がもたらす影響より、個別での活動や、関わりのほうがQOLを豊かにするケースが多いと考える。個々に合わせたアセスメントが重要。 ・入居者様の楽しみの為に、季節感のある行事をしており、十分に出来ている。その様子が「菜の花通信」でよく確認できる		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出は制限しているが同禍でも楽しむ事が出来るよう企画を立案、実施を行い、敷地内でのバーベキューやドライブスルーの利用など行っている。	・コロナ禍においても、菜の花の活動は積極的だと考える。そもそも外出を苦手とする方もいるはず。室内での活動が充実し、室内から季節感や外気に触れるような機会もあるはずなので、コロナの状況をみて、慌てないことも大事だと考える ・工夫を凝らしながら充分に取り組みされている。 ・状況に応じた対応をお願いします。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は、行事で買い物がある際、ご本人で支払うこともあったが、現在は、外出行事自体が行えておらず、お金を使用する支援は行えていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が電話をする際や、ご家族からの電話の際に、ご本人と話す機会がある。また、その方の生活リズムを事前に伝えて、より良い状況で話が出来様、心掛けている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様全員が、車椅子を使用している為、移動の際に危険がない様、環境整備を行っている。また、季節の装飾を施し、居心地良く過ごせる様工夫している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	菜の花通信を通じて、季節感がある空間を作っている事が伝わる。入居者様の状態に合わせて危険な箇所の整備を続けて行って欲しい。

		慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中での会話や、表情を通して思いを汲み取り、意向に沿った対応ができる様に心掛けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づきシートを用い、生活の中で知り得た情報を職員間で共有し、支援に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康管理を中心に、状態変化があった際には、早急に医師と連携を図り、必要な医療が受けられる体制を整えている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・体調不良などがあった際には、ご家族にも連絡し、医師と連携して対応してくれている事がわかる。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	休息、読書、テレビを見る等、個々のペースで過ごす事が出来る様に意思確認をし、支援を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内には、馴染みの物や、ご家族の写真等、居心地良く過ごせるように配慮している。また、入居時に説明を行い、馴染みの物が身近に持つ事が出来る様に支援している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・写真や馴染みの家具、物などを身近に置くことができていますが、コロナ禍になってから、ご家族が把握できない部分がある。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出はコロナ禍の為、近隣の散歩等にて制限しているが、施設内では、希望を聞き、レクリエーションや行事に反映させ季節感を感じる事が出来る様配慮している。	・個々の意向の尊重や、個々に合わせた動機付けなど、様々な取り組みが行われていると思う。取り組みを踏まえた上で、ご本人が、参加したくないといった希望を尊重することも重要であると考え ・状況に応じて対応できている。継続をお願いします		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の出来ることを見つけ出し、活かして継続する事で自信が持てるよう、役割や楽しみごとを行って頂く様にしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が会話を持ち掛ける事で談話、軽作業などを一緒に行うなど、活動場面を作っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・加齢や、認知症の進行がある中でも、職員が関わる事で食事、レク等、色々な事がなされている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍より、地域、町内会の集まりには参加が出来ていない。外気浴や散歩などで会った際は、挨拶を交わしているが、回数は少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、町内会回覧板や市町村(区)の広報などの閲覧、情報収集も間接的な参加だと考える。コロナの状況に合わせて、徐々に活動を再開できればと考える。 ・各人の能力に合わせたフォローをお願いします 		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ここ数年、コロナウィルス感染症にて面会制限や、外出制限を強いられ、地域との交流が満足に出来ていない状況があり、課題を残す中であるが、限られた条件下において、入居者様へ安心、安全、楽しみごとにおける支援の工夫を行うことで、「ここで良かった」「困っている事はないよ」「本当によくやってくれている」と話される入居者様もおり、これからより良い日々を送ることが出来るよう支援を模索する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的で責任感のある管理者がいるお陰で、利用者が主役となり、自分の家のようにゆっくりと生活できている施設だと感じている。コロナ禍で学んだ教訓や学習は大切にし、課題や出来なかった取り組みは、世情を鑑みて、入居者様のペースで、ゆっくりと再開することが大切だと考える ・今後も宜しくお願いします ・入居者様の会話からも職員の方々は十分に思いやりのある関わりが出来ていると読み取れると考える 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・菜の花しのろ館は職員が中心となり、コロナ禍の中でも、色々と工夫し、今出来る事に取り組んでいる。その為、入居者様が安心して暮らしている。今後も入居者様が安心して暮らせるように頑張ってもらいたい

					<p>・コロナウィルスの感染防止対策にて面会を出来るだけ控えている中、現状を把握する事はほぼ困難であり、評価をする事も出来ません。代表者並びに、職員の皆様の事業理念に基づいた行動をして頂いていると確信いたしておりますので、充分できていると期待し、評価させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます</p>		
--	--	--	--	--	---	--	--